

パソナ・パナソニック ビジネスサービス株式会社
班員：本多 長谷川 銭谷 川谷 池上 金子
担当教員：大須賀 野村

アフターコロナのイベントの在り方

誰でも気軽に参加できるイベントの提案

- ・ネットリテラシーが低いためオンラインイベントに参加する敷居が高いと感じている
- ・友達と一緒に参加しているような臨場感が味わえない→オンラインゲーム班
- ・人の密集する場所を避けたいためイベントを楽しめない→テレビ型イベント班

オンラインイベント（茶屋町祭で検証実験）

提案内容を茶町祭で実践し課題抽出→改良案を提案

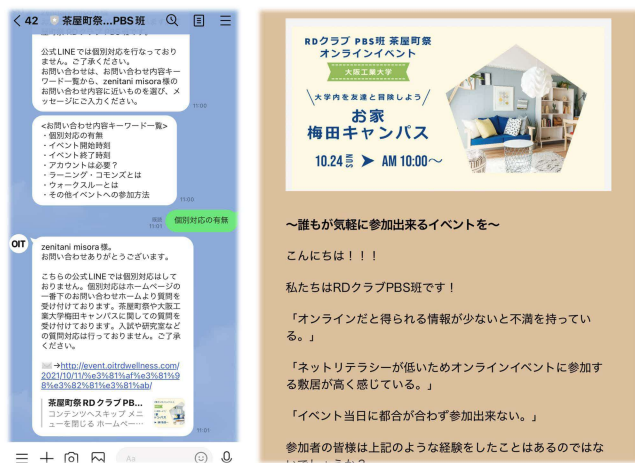
簡単に参加できる仕組み

・ワンクリックでイベントに参加できる ホームページの設置

→オンラインへの抵抗感を軽減

・気軽にお問い合わせできる チャットbot機能

→メールでのお問い合わせより、
気軽でかつ素早い対応を



実施後の改良案

- ・トップページへのリンクを各ページに貼る
- ・制作者側が当たり前を使う機能であっても理解が難しい文字の色を変えて目立たせる
- ・お問い合わせチャットとして広告するのではなく「公式LINE」として押し出す。
- ・事前にデモイベントを行い、疑問点を見つけ、お問い合わせ内容を推考する

臨場感のあるイベント

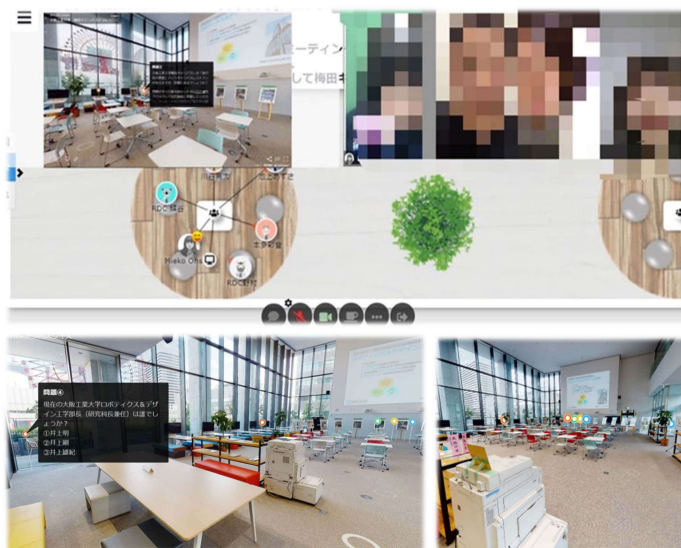
・オンラインでも

友達と会話しながら参加できるイベント

→友達との物理的な距離を感じさせない

・ウォークスルーを利用した宝探しゲーム

→自由に歩き回ることができ、
実際に訪れたかのような感覚に



参加者の意見

- ・「その場にいるかのような臨場感を味わえた」
- ・「探しながら問題をするのは新しくてよかった」というウォークスルーに関する意見を得ることができ、アイデアの良さが示された
- ・「友達とワイワイできた」という意見が多くあった

テレビ型イベント

・特設サイトの設置

→放送終了後もデータ放送の結果を閲覧できる

・SNSで楽しさを共有

→ハッシュタグ付けされた投稿をデータ放送にて共有

・データ放送画面の充実

→投票を行い、結果を共有することができる

視聴者が
参加できる
工夫

・各種SNSによる宣伝

→TikTokやYouTubeで内容を一部放送し、
テレビで視聴してもらえるように促す。
TwitterやInstagramでは放送に関する
内容の投稿をする

・ゲストを投票で選出

→事前にSNSで告知して投票を募り、
一番投票数の多い方にゲストとして
参加してもらう